

# 自主防災

住民が協力し救助・救援を行う



畑田沢里自主防災会の訓練

1/避難所に仮設トイレを設置 2/要援護者をリヤカーに乗せて避難所に向かう参加者 3/救護所で救助者に心臓マッサージを実施 4/炎に向かって消火剤を噴射 5/避難者名簿に名前を記入する参加者

## 災害、心構えが大切

総合防災訓練に合わせ、市内の自主防災会11団体も避難所の開設や避難誘導などの訓練を実施。畑田沢里自主防災会（田家正明会長）では、地域住民約60人が訓練に参加。消火訓練や炊き出しのほか、トランシーバーを使用した情報収集・伝達、負傷者の救出・救護など、工夫した訓練を行いました。初の総合訓練を終え、田家会長は「何度も内容を検討したこともあり、各担当が機能的に行動できました。大切なことは災害を想定した心構え。課題を洗い出し、次回に生かします」と防災力の向上を誓いました。

## 対応力を培う訓練

閉会式では、参加者が東日本大震災の犠牲者へ黙とう。その後、達増拓也県知事は「災害への備えは、日ごろからの訓練で培われた対応力だと認識しました」と講評。また、山内隆文市長は「大震災の風化が心配されていますが、今日の訓練を糧に、津波ワークショップの開催などに引き続

## 要援護者名簿の共有

## 2団体が新たに協定締結

市は湊中組町内会（山崎毅会長）、湊下組町内会（村上雅夫会長）、関自治会（関利行会長）と災害時要援護者名簿の共有等に関する協定を締結しました。

9月3日に湊中下公民館で行われた調印式では、湊中組・下組両町内会の住民約20人が見守る中、山崎会長と村上会長が協定書に調印。調印後、村上会長は「地



協定書を持ち記念撮影（左から村上雅夫会長、山内隆文市長、山崎毅会長）

域全体が一致協力し、支え合い助け合おう」と住民に呼びかけました。関自治会との調印式は9月4日、市役所で行われ、同自治会から3人が出席しました。調印を終えた関会長は「名簿の共有を機に、地域の支え合い活動を活性化していきます」と思いを新たにしました。

山形町内の団体との名簿共有は同自治会が初。これを期に山形町での名簿共有が進むことが期待されます。同協定の締結は今回で54町内会・団体となりました。地域の支え合いの輪は着実に広がっています。



協定書に署名する関利行会長（右）

## 県総合防災訓練

### 災害時に生きる体験

救援物資として届いた医薬品の分類作業では、複数の症状に対応する薬の扱いに苦労しました。この体験を災害時に生かします。

阿部 司 薬剤師（盛岡市）



### 意義のある訓練

震災時に避難所だった場所で本番さながらの訓練を行いました。関係団体との連携や救護所運営の課題を確認でき、有意義でした。

白戸 隆洋 医師（田屋町）



### AED 訓練で習得

今回は AED の操作を習得したので、現場でも対応ができると思います。緊急事態に対応するためには訓練が大切と実感しました。

七十苺 良一さん（湊町）



### 初のボランティア

初めてボランティアに参加しました。実際に活動する時には、相手の気持ちを大切にしながら、お手伝いをしたいと思います。

窪田 八千子さん（天神堂）



## 防災意識の日常化

地震や津波による災害に加え、近年では全国各地で大雨による洪水や土砂災害、竜巻などの災害が発生しています。大きな災害が発生した場合、市や消防署などは全力で救援・救助活動を行います。複数の場所で同時に火災・救助活動が発生したり道路が寸断されると、住民から寄せられる全ての要請に対応できない場合があります。被害を最小限に抑えるためには、防災機関による「公助」に加えて、自主防災組織などを中心に地域で助け合う「互助」、自分や家族の安全を自

分で守る「自助」が必要になってきます。

いつ起こるかわからない災害に備えるために私たちができることは、訓練と心構え、そしてすぐに避難できる準備をしておくことです。

私たち一人一人が災害時の対応を日常的に意識することで、市全体の防災力は向上します。東日本大震災の記憶を風化させることなく、災害に強いまちにしていきましょう。

## 自主防災組織の結成と活動を支援

市では、自主防災組織の結成及び活動を支援するため、活動経費に補助金を交付しています。詳しくは問い合わせください。

消防防災課 ☎ 52-2173

## 普段から災害への備えを

災害から自分や家族の命を守るため、普段から災害に備えておく必要があります。まずは避難場所や避難ルートの確認、家族間で普段から連絡方法を決めておくこと、非常持ち出し品の準備をして

おくことが大切です。また、大きな災害の場合、被害が広範囲となり、すぐには救援が来ないことが考えられますので、非常食は最低3日以上、可能であれば一週間分確保しておきましょう。



市消防防災課 多喜代 吉博 課長

## 義援金、寄付金

# 熱い支援に感謝

寄せられた義援金

1,158 件  
8,941 万 3,555 円

（9月10日現在）

全国各地から義援金、寄付金が寄せられました。ご支援ありがとうございます。

8月11日～9月10日受付分  
（敬称略）

## 義援金

- 県外
  - 【東京都】 ▶ 五味秀春
  - 【神奈川県】 ▶ 神林洋行
  - 【岐阜県】 ▶ 八屋孝之
  - 【鹿児島県】 ▶ 有限会社 峰
- 市内
  - 【団体】 ▶ 夏井小学校 PTA
  - 口座振替等
    - 【団体】 ▶ カワモトコウギョウ

## 寄付金

- 県外
  - 【青森県】 ▶ 中里義範
  - 【宮城県】 ▶ ㈱関・空間設計
  - 【埼玉県】 ▶ 城野口有吉
  - 【千葉県】 ▶ 青村善行
  - 【長野県】 ▶ 上市市倫理法人会
  - 【その他】 ▶ 匿名3件
- 市内
  - 【個人】 ▶ 佐藤圭介 ▶ 山口真平

## 義援金ご協力を

市では平成26年3月31日まで、市内の被災した方々に分配する義援金を受け付けています。詳しくは問い合わせください。

社会福祉課 ☎ 52-2119